



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場会社名 株式会社アプラスフィナンシャル 上場取引所 東
 コード番号 8589 URL https://www.aplusfinancial.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 哲朗
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合管理部長 (氏名) 谷 裕一 TEL 03-6630-3933
 四半期報告書提出予定日 2020年8月4日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第1四半期 | 19,477 | 0.2 | 2,209 | 19.9 | 2,179 | 17.9 | 1,973 | 174.7 |
| 2020年3月期第1四半期 | 19,434 | 2.8 | 1,842 | △19.9 | 1,848 | △20.1 | 718 | △21.1 |

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2,003百万円 (171.7%) 2020年3月期第1四半期 737百万円 (△22.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第1四半期 | 1.30 | 0.73 |
| 2020年3月期第1四半期 | 0.47 | 0.25 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|-----------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期第1四半期 | 1,519,926 | 67,571 | 4.4 | 12.84 |
| 2020年3月期 | 1,515,396 | 65,568 | 4.3 | 11.53 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 67,571百万円 2020年3月期 65,568百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2021年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2021年3月期（予想） | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、「4. 種類株式の配当の状況」をご覧ください。

(注) 当社は定款において第2四半期末および期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。（「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照）

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が業績に与える影響の不確実性が高く現段階においては合理的に算定することが困難であることから未定としております。

今後、業績予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー 社（社名）ー、除外 ー 社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|----------------|------------|----------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期1Q | 1,524,211,152株 | 2020年3月期 | 1,524,211,152株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期1Q | 5,880株 | 2020年3月期 | 5,877株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年3月期1Q | 1,524,205,273株 | 2020年3月期1Q | 1,524,205,501株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 当社は1996年3月期より普通株式に係る配当を実施していません。現時点では配当を行うかどうかについては未定であります。

4. 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|--------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 第一回B種優先株式 | | | | | |
| 2020年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2021年3月期 | — | | | | |
| 2021年3月期(予想) | | 未定 | — | 未定 | 未定 |
| H種優先株式 | | | | | |
| 2020年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2021年3月期 | — | | | | |
| 2021年3月期(予想) | | 未定 | — | 未定 | 未定 |

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 5 |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 6 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 6 |
| (5) 追加情報 | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内外の景気は急速に悪化いたしました。国内においては、緊急事態宣言の発令による社会経済活動の自粛により、消費の落ち込みや雇用環境の悪化の動きが見られました。同宣言の解除とともに社会経済活動は段階的に再開しておりますが、感染状況の先行きは極めて不透明であり、予断を許さない経営環境が続くものと考えられます。

当業界におきましては、カードビジネス・ショッピングクレジットについて当面の間は利用機会の減少などの影響が続くことが想定されるものの、ECマーケットの拡大やキャッシュレス決済推進の取り組みは、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」のもとにおいても、AIやFintech等を活用した金融・決済サービスの開発と多様化により、持続していくことが期待されます。

このような中、新生銀行グループは中期経営戦略の2年目を迎え、「価値共創による成長追求と経営資源の最適活用による提供価値の最大化」の基本方針のもと、当社グループは、①既存ビジネスの改善・改良による収益拡大と環境変化への対応、②構造改革推進による徹底した省力化と人材の活用、③働きがいのある職場づくり、を骨子として更なる成長に向けた事業基盤の整備に取り組んでまいりました。

2020年3月に提供を開始したネオバンク・プラットフォーム「BANK IT[®]」は、資金移動業および前払式支払手段発行業の登録がある株式会社アプラスが事業主体となり、新生銀行グループが有する決済、為替、与信機能などの金融サービスをカフェテリア形式でパートナー企業に提供するサービスとなります。パートナー企業は提供される各種金融機能を利用することで、金融ライセンス取得やシステム投資を行うことなく、必要な金融機能を自社サービスに組み込むことが可能となります。「BANK IT[®]」のサービス提供を通じて、顧客基盤を有するパートナー企業やFintech企業と協業しながら、次世代に必要となる金融・決済サービスを開発し、新たな金融体験を提供してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、ショッピングクレジット事業とペイメント事業のトップラインが堅調に推移し、営業収益は19,477百万円（前第1四半期連結累計期間比0.2%増）となりました。営業費用は貸倒引当金繰入額などの減少により、17,267百万円（同1.8%減）となりました。この結果、営業利益は2,209百万円（同19.9%増）、経常利益は2,179百万円（同17.9%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等調整額の減少により1,973百万円（同174.7%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① ショッピングクレジット

当セグメントにつきましては、新生銀行グループの昭和リース株式会社と連携した中小企業・小規模事業者向けソリューションであるベンダーリースや株式会社アプラスの持つ自動車販売店の営業基盤を活用した個人向けオートリースの取扱を伸ばしてまいりました。また、WEB経由で申込が完結する「eオーダー」の拡大により一般商品の取扱を伸ばしてまいりました。

当セグメントにおける営業収益は7,943百万円（前第1四半期連結累計期間は7,271百万円）、セグメント利益は1,427百万円（同824百万円）となりました。

② カード

当セグメントにつきましては、2020年4月に「APLUS CARD neo」の発行を開始いたしました。「APLUS CARD neo」は自動車購入などのショッピングクレジットのご契約時に同時入会いただき、普段のお買い物などでカードショッピングをご利用いただくと、当初ご契約いただいたショッピングクレジットのご返済額からカード利用額の最大1.5%分を値引きする特典が付いたクレジットカードになります。

当セグメントにおける営業収益は5,788百万円（前第1四半期連結累計期間は6,205百万円）、セグメント利益は307百万円（同112百万円）となりました。

③ ローン

当セグメントにつきましては、住宅購入に必要な諸費用などをご融資する「マイホームプラン」や、無担保で融資期間35年（最長）かつ完済時上限年齢90歳の条件で幅広い年齢層のお客さまが毎月の負担を抑えて理想のリフォームに取り組むことのできる「リフォームローン ゆとりR35」や、お客さまの豊かな生活と我が国の住宅政策に貢献できる社会貢献型ビジネスの事業理念に基づく商品である「リバースモーゲージ型住宅ローン」などの推進に取り組んでまいりました。

当セグメントにおける営業収益は1,764百万円（前第1四半期連結累計期間は1,955百万円）、セグメント利益は469百万円（同540百万円）となりました。

④ ペイメント

当セグメントにつきましては、口座振替やコンビニ決済の集金代行サービスは安定した成長が続きました。コード決済サービスは、海外インバウンド向けの「Alipay」「WeChat Pay」「kakaopay」「AlipayHK」「JKOPAY」と、国内向けの「auPAY」「d払い」「LINE Pay」「メルペイ」「PayPay」の利用店舗網の拡大に取り組んでまいりました。また、地域金融機関と加盟店紹介業務の提携を進め、観光資源の豊かな地域におけるキャッシュレス決済の一段の普及を図るとともに、お客さまの幅広い決済ニーズへの対応に取り組んでまいりました。

当セグメントにおける営業収益は3,412百万円(前第1四半期連結累計期間は3,169百万円)、セグメント利益は340百万円(同543百万円)となりました。

⑤ その他子会社

当社子会社である全日信販株式会社につきましては、当社主要子会社の株式会社アプラスに吸収合併する方針となっており、カードの新規募集は2015年度に停止し、ショッピングクレジットの新規申込受付につきましても2017年度より株式会社アプラスへ集約いたしました。

当セグメントにおける営業収益は399百万円(前第1四半期連結累計期間は675百万円)、セグメント利益は113百万円(同232百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比4,530百万円増加の1,519,926百万円となりました。これは主として、割賦売掛金、信用保証割賦売掛金の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比2,527百万円増加の1,452,355百万円となりました。これは主として、短期借入金、信用保証買掛金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比2,003百万円増加の67,571百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年度の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う世界経済の下押しが当面続くことが見込まれ、各国の大規模な経済政策による下支えが実施されているものの、経済・金融市場は大きく変動するリスクが想定されます。国内においては、全国的な社会経済活動の自粛により、企業の休業や消費者心理と雇用環境の悪化による影響が想定され、予断を許さない経営環境が続くものと考えられます。

2020年度の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が業績に与える影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後合理的に見積もることが可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 186,854 | 115,435 |
| 割賦売掛金 | 683,508 | 686,721 |
| 信用保証割賦売掛金 | 473,539 | 488,515 |
| その他 | 167,652 | 226,874 |
| 貸倒引当金 | △34,874 | △35,541 |
| 流動資産合計 | 1,476,680 | 1,482,006 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 6,422 | 6,261 |
| 無形固定資産 | 22,469 | 21,891 |
| 投資その他の資産 | 9,750 | 9,700 |
| 固定資産合計 | 38,642 | 37,853 |
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | 73 | 67 |
| 繰延資産合計 | 73 | 67 |
| 資産合計 | 1,515,396 | 1,519,926 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 17,826 | 15,915 |
| 信用保証買掛金 | 473,539 | 488,515 |
| 短期社債 | 176,300 | 137,300 |
| 短期借入金 | 186,268 | 360,470 |
| 未払法人税等 | 1,134 | 456 |
| 賞与引当金 | 1,410 | 495 |
| その他 | 156,661 | 145,500 |
| 流動負債合計 | 1,013,140 | 1,148,653 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 20,000 | 20,000 |
| 長期借入金 | 102,375 | 89,245 |
| 長期債権流動化債務 | 286,729 | 164,744 |
| 退職給付に係る負債 | 52 | 9 |
| 利息返還損失引当金 | 6,855 | 6,404 |
| その他 | 20,675 | 23,299 |
| 固定負債合計 | 436,688 | 303,701 |
| 負債合計 | 1,449,828 | 1,452,355 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 15,000 | 15,000 |
| 資本剰余金 | 3,730 | 3,730 |
| 利益剰余金 | 47,212 | 49,186 |
| 自己株式 | △0 | △0 |
| 株主資本合計 | 65,942 | 67,916 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △0 | △0 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △373 | △344 |
| その他の包括利益累計額合計 | △373 | △344 |
| 純資産合計 | 65,568 | 67,571 |
| 負債純資産合計 | 1,515,396 | 1,519,926 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 営業収益 | | |
| 包括信用購入あっせん収益 | 5,244 | 4,778 |
| 個別信用購入あっせん収益 | 2,698 | 3,036 |
| 信用保証収益 | 4,452 | 4,611 |
| 融資収益 | 3,139 | 2,927 |
| 金融収益 | 319 | 290 |
| その他の営業収益 | 3,579 | 3,832 |
| 営業収益合計 | 19,434 | 19,477 |
| 営業費用 | | |
| 販売費及び一般管理費 | 16,808 | 16,543 |
| 金融費用 | 783 | 723 |
| 営業費用合計 | 17,592 | 17,267 |
| 営業利益 | 1,842 | 2,209 |
| 営業外収益 | | |
| 雑収入 | 11 | 7 |
| 営業外収益合計 | 11 | 7 |
| 営業外費用 | | |
| 雑損失 | 5 | 38 |
| 営業外費用合計 | 5 | 38 |
| 経常利益 | 1,848 | 2,179 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,848 | 2,179 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 360 | 206 |
| 法人税等調整額 | 769 | △1 |
| 法人税等合計 | 1,129 | 205 |
| 四半期純利益 | 718 | 1,973 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 718 | 1,973 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △0 | △0 |
| 退職給付に係る調整額 | 18 | 29 |
| その他の包括利益合計 | 18 | 29 |
| 四半期包括利益 | 737 | 2,003 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 737 | 2,003 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

該当事項はありません。